

高齢者がかがやくまち金沢

～ 生涯現役社会の実現に向けて ～

平成 31 年 2 月

金沢市アクティブシニア支援検討会

はじめに

金沢市においても少子高齢社会が進行し、暫くすると、人口減少社会を迎えます。そうした中、本市の高齢者には高い就業意欲が見られ、体力や健康面においても一貫して向上傾向を示しています。以前であれば60代は立派な高齢者でしたが、今では65歳以上を一律に「高齢者」と定義し、支えられるべき存在として捉えることは、現実的ではありません。

金沢市には、城下町の歴史や文化、恵まれた自然の中で育まれた人間性と善隣館思想に代表される高い連帯意識と相互扶助の精神に基づき、アクティブシニアの受け皿となる団体や活動場所が数多くあり、また、各種団体等へ参加しやすくするための講座や教室も身近な場所で開催されています。さらには、自らの知識・教養等を高めるための文化施設や体育館なども各地に整備されるなど、活動のための社会資源は他都市と比較しても遜色ない状況です。

しかしながら、この豊かな社会資源のほとんどが、分野・団体ごとに個々に存在し、互いの連携がうまくとれていないため各々の情報以外持ち合わせていないことも多く、高齢者に対して他の有用な情報を伝えられていないことも少なくありません。このことは、高齢者とその活動の受け皿である地域・団体にとっても大きなマイナスとなっています。

今後、超高齢社会に対応するためには、すべての高齢者が希望に応じて意欲・能力をいかして活躍できる生涯現役社会の構築が必要であり、そのことを通じて、地域社会全体が元気になっていくことを期待し、以下の取り組みを提言します。

金沢市アクティブシニア支援検討会

会長 樫見 由美子

アクティブシニア支援における課題

人生100年時代を踏まえ、65歳以上を一律に高齢者とみることが現実的ではなくなりつつある状況から、年齢区分で人々のライフステージを区切るのではなく、個々人の意欲や能力に応じて活躍できる生涯現役社会へと変化していくことが、今求められています。

また、従来の「教育⇒就労⇒老後」といった単線型のライフスタイルを、「社会参加⇔地域活動⇔就労」といった複線型のライフスタイルへと見直すなどセカンドキャリアの過ごし方について、個々人が考えるきっかけづくりが求められています。

※アクティブシニア：趣味やスポーツなどの活動、これまでの知識や経験を活かした地域活動やボランティア活動、就労など様々な活動に意欲的に取り組む高齢者をいう。

1. 趣味やスポーツなどの活動における課題

金沢市の特徴として、趣味やスポーツなどへの参加意欲は高いものの、実際の参加にはつながっていない現状があります。参加できない主な要因として、全国と比べ高い水準にある高齢者の就労状況を背景とした忙しさからくる時間的な制約もありますが、たとえ自由な時間があっても「どのように活動すればよいかわからない」「活動に関する情報が得られない」など、高齢者に対して、必要な情報がうまく届けられていないことが挙げられます。

今後、より多くの高齢者に趣味やスポーツなどへ参加してもらうためには、教室の開催時間や場所など活動内容をアクティブシニアのニーズにあったものに見直していくとともに、各種情報の発信方法やマッチングのあり方について検討していく必要があります。

2. 地域活動、ボランティア活動における課題

地域活動、ボランティア活動への参加については、約3割の方が「機会があれば参加したい」、また、約2割の方が「必要性は感じるが参加したいと思わない」と回答していることから、まずは、参加に向けた機運の醸成・啓発が必要と考えます。このことは、「参加できない・したくない」の理由において、70歳以下では、「忙しくて時間がない」「きっかけや機会がない」以外の理由では、「興味や関心がない」が上位を占める一方で、「活動に関する情報が得られない」、「どのように活動すればよいかわからない」といった理由を選択する比率が低いことから明らかです。

また、地域活動、ボランティア活動への参加のきっかけとなるものとして、「時間や時期があまりしぼられないこと」「身近な場所で活動できること」など、身体的な負担感の解消を求める意見が多いことから、負担感解消に配慮した地域活動、ボランティア活動のあり方について模索していくことも重要です。

3. 就労における課題

金沢市の特徴として、全国と比べ高い高齢者就業率が挙げられます。また少なくとも70歳までは働きたい方が半数以上、生涯就労を希望する方も約4割と引き続き働きたいという意欲は高いといえます。現在、65歳から69歳までの就業率は約5割となっており、70歳以上の就労を希望される方が多くいることから、65歳以上の雇用支援を強化するとともに、高齢者・企業双方に対する生涯就労に向けた多様な働き方の提案や情報発信に加え、相談窓口やマッチング機能の強化を図っていくことが必要です。

なお、金沢市が今年度策定予定の「金沢版働き方改革推進プラン」においては、生涯現役社会に向けた高齢者の就労拡大に重点を置き、高齢者の就労拡大に積極的に取り組む企業の好事例の発信、アクティブシニアの活躍促進に向けた高齢者の社会参加や就労等の支援、ハローワーク等と連携した高齢者の就労支援などに取り組んでいくこととしています。

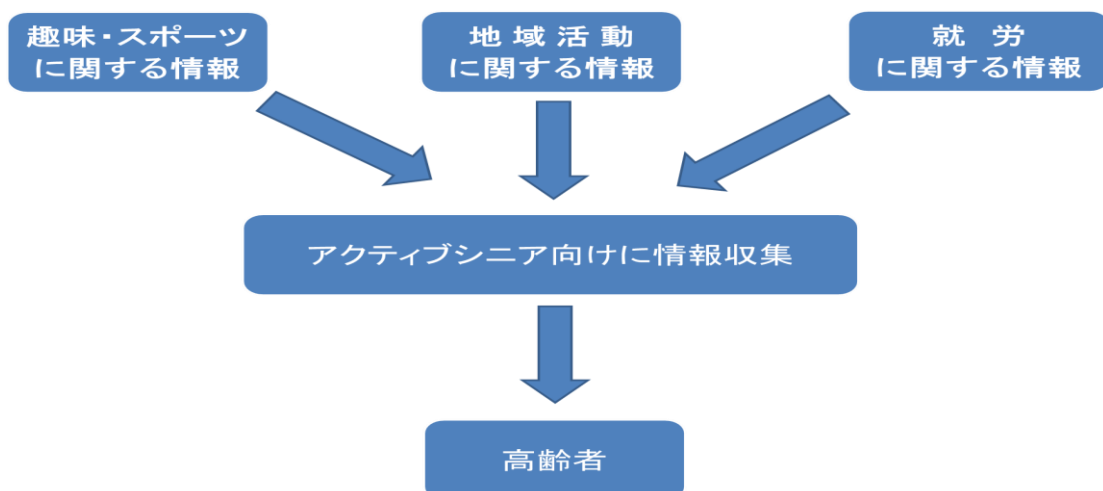
提 言

取り組み1 アクティブシニアの活動を支援するための情報収集とその発信

金沢市では、趣味やスポーツといった活動、地域活動やボランティア活動、就労などの関係機関・団体において、既に様々な取り組みが行われており、ホームページや機関誌などでの情報発信にも力を入れています。これらの情報は、「高齢者」という括りでまとまっていないことから、たとえやりたいことがはっきりしていても、問合せ先がわからなければ、必要な情報にたどり着けない状況です。

まずは、個々に発信されている情報を収集し、アクティブシニア向けにまとめて提供する環境を整えることによって、情報を入手したいと考えている人には、容易に情報を得ることができるようになるとともに、やりたいことは決まっていないが何かやりたいといった場合でも様々な情報を提供できるようになることで、新たな活動のきっかけづくりになると考えます。

さらには、アクティブシニア向けに情報発信したいと考えている団体や企業といった情報の送り手に対しても効果的な情報発信の場が提供できるといった利点もあります。

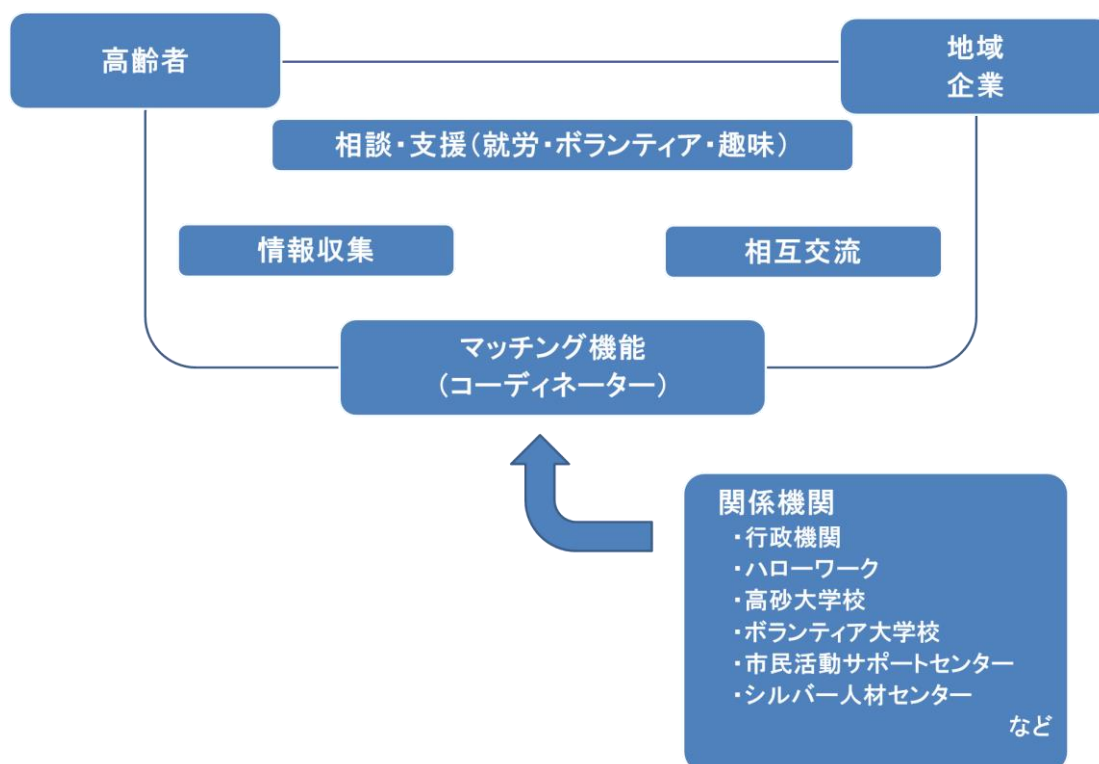


取り組み2 アクティブシニアの活動を支援するためのマッチング機能の強化

金沢市の高齢者特性として自ら行動する人は約3割、残りの7割は自ら行動せず誘いを待っているという状況が見られることから、収集した情報を高齢者の活動に繋げていくためには、数多くの情報の中から個々人のニーズにあった情報を取捨選択し、プロデュース・マッチングしていく機能の強化は、大変重要です。

また、高齢者のライフスタイル、価値観や意識の多様化に伴い、高齢者のニーズを把握すること、新たな活動の場を作り出すこと、現在ある活動の場を見直し提案していくことも、アクティブシニアの活動を活性化していく上では大切なことだと思います。

そこで、高齢者や地域・企業などのニーズを的確に把握し、収集した多くの情報から高齢者のニーズにあったものをわかりやすく伝え、双方の活動を後押しするコーディネーターとなる人の育成が重要です。



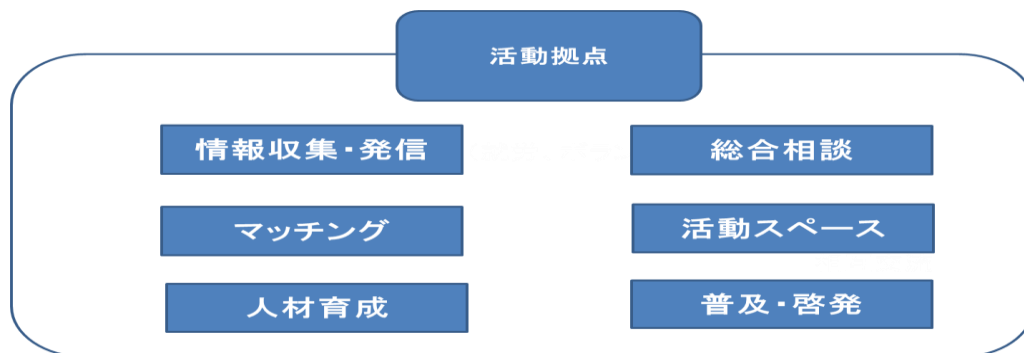
取り組み3 アクティブシニアの活動、交流を支援するための拠点の整備

情報の一元化やマッチング機能の強化とともに大切なのが、アクティブシニア支援の活動、交流を支援するための拠点の整備です。

高齢者からの相談内容は趣味やスポーツ、地域活動、就労など多岐に及ぶことから、総合窓口の設置や窓口のワンストップ化を進める必要があります。そこでは、多様な選択肢の提供を目的に情報提供コーナーやコーディネーターの相談スペースのほか、イベント会場や誰もが自由に入出りできるたまり場的な多目的室を備えることで、「つながり」を意識した施策の推進が可能となります。

また、相談者を待つだけではなく、ハローワークやシルバー人材センターなどの関係機関と連携したマッチング交流会を開催することや、仮に高齢者のニーズにあった社会資源がない時には、就労開拓や各種講座を開催するなど、様々なきっかけづくりや機会の提供が図ることができる交流拠点の体制を整備していくことも必要です。

さらに、意欲と希望に満ちた豊かなセカンドキャリアを過ごせることを広く啓発するとともに、高齢期の働き方の提案や、社会参加、地域活動のきっかけ作りを行う講座やイベントを開催することで、様々な目的にむかって積極的にチャレンジする人材を育成するための拠点としての整備も必要です。



金沢市アクティブシニア支援検討会委員及び提言書策定までの経過

(1) 金沢市アクティブシニア支援検討会委員

(50音順、敬称略)

氏名	役職等
後出 建司	社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会 常務理事
◎ 樫見 由美子	金沢大学 人間社会研究域 教授
川原 利治	公益社団法人 金沢市シルバー人材センター 理事長
林 重毅 (H29 西田 哲次)	金沢商工会議所企業経営アシストセンター センター長
○ 眞鍋 知子	金沢大学 人間社会研究域 教授
宮崎 栄一郎 (H29 北南 介規)	石川労働局職業安定部職業対策課 課長
山崎 純生	金沢市老人連合会 常務理事

(◎会長 ○副会長)

(2) アクティブシニア支援提言書策定までの経過

実施日	会議等の内容
平成 29 年 8 月 22 日	<u>第 1 回金沢市アクティブシニア支援検討会</u> ・本市の状況について ・先進市（柏市、姫路市）の取組み状況について
平成 29 年 10 月 30 日	<u>第 2 回金沢市アクティブシニア支援検討会</u> ・柏市生涯現役促進協議会の取組み状況について ・関係団体の取組み状況について
平成 29 年 12 月 1 日	<u>第 3 回金沢市アクティブシニア支援検討会</u> ・関係団体の取組み状況について ・次年度の提言に向けた意見交換
平成 30 年 11 月 2 日	<u>第 4 回金沢市アクティブシニア支援検討会</u> ・高齢者の状況について ・高齢者の社会参加に関する意識調査の実施について
平成 30 年 11 月 12 日 ～11 月 30 日	高齢者の社会参加に関する意識調査の実施
平成 31 年 1 月 16 日	<u>第 5 回金沢市アクティブシニア支援検討会</u> ・高齢者の社会参加に関する意識調査結果について
平成 31 年 2 月 15 日	<u>第 6 回金沢市アクティブシニア支援検討会</u> ・高齢者の社会参加に関する意識調査の結果分析について ・アクティブシニア支援のための提言について